

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	国語Ⅲ
科目基礎情報						
科目番号	0008		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材						
担当教員	加藤 達彦,竹内 直人					
到達目標						
近代以降の様々な文章や文学作品を享受し、理解と表現の能力を育成する。特に「正確な読解力」、「柔軟な思考力」、「適切な表現力」を調和的に伸ばすことで、総合的な国語力を身につける。また、人間・社会・歴史・自然などに広く目を向け、豊かな人間性や社会性をはぐくむ。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	文学的な文章について、人物・情景・心情等の描写を深く読み味わうことができる。		文学的な文章について、人物・情景・心情等の描写を読み味わうことができる。		文学的な文章について、人物・情景・心情等の描写を読み味わうことができない。	
評価項目2	論理的な文章について、論の展開や論旨を深く読み解くことができる。		論理的な文章について、論の展開や論旨を理解することができる。		論理的な文章について、論の展開や論旨を理解することができない。	
評価項目3	常用漢字、同音異義語等国語に強い関心を持ち、状況に応じ運用することができる。		常用漢字、同音異義語等、国語に関心を持ち、適切な表現をすることができる。		常用漢字、同音異義語等、国語に関心を示さず、表現が適切でない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	文学的教材に関しては、前期中間（明治）、前期期末（大正）、後期中間（昭和）、後期期末（現代）と時代を追って近代的自我の移り変わりを概観する。 評論的文章に関しては文学的教材に絡めてつつ、日本人のあり方と現代社会の問題をとらえる。					
授業の進め方・方法	①毎回の授業時に、漢字テキストからプリント形式で漢字学習をする。 ②漢字学習終了後、文学的教材または評論的教材の精読を行う。					
注意点	①学習には主体的に取り組み、努力を惜しまない姿勢をもって臨むこと。 ②毎回、漢字学習の習熟度を小テストで確認する。その小テストについては、評価割合の「その他」として位置づけてある。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	「現実と仮想」①		「現実」と「仮想」に関する筆者の考えを的確に読み取る。	
		2週	「現実と仮想」②		「現実」と「仮想」に関する筆者の考えを的確に読み取る。	
		3週	「舞姫」①		国家・家・自我の間に揺れる近代人の苦悩を読み取る。	
		4週	「舞姫」②		国家・家・自我の間に揺れる近代人の苦悩を読み取る。	
		5週	「舞姫」③		国家・家・自我の間に揺れる近代人の苦悩を読み取る。	
		6週	「舞姫」④		国家・家・自我の間に揺れる近代人の苦悩を読み取る。	
		7週	前期中間試験		今までの授業内容をふまえて、設問に対して正しく解答する。	
		8週	試験の解答と解説		試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。	
	2ndQ	9週	「他者の声 実在の声」①		「自我」と「他我」の境目を考える。	
		10週	「他者の声 実在の声」②		「自我」と「他我」の境目を考える。	
		11週	「范の犯罪」①		大正期の心境小説を読む。	
		12週	「范の犯罪」②		大正期の心境小説を読む。	
		13週	「言語と記号」①		言葉の記号としての役割を理解する。	
		14週	「言語と記号」②		言葉の記号としての役割を理解する。	
		15週	前期期末試験		今までの授業内容をふまえて、設問に対して正しく解答する。	
		16週	試験の解答と解説		試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。	
後期	3rdQ	1週	「鏡の中の現代社会」①		「異世界」をとおして見えてくる「近代化」について、的確に読み取る。	
		2週	「鏡の中の現代社会」②		「異世界」をとおして見えてくる「近代化」について、的確に読み取る。	
		3週	「檸檬」①		凝縮された密度の濃い文学作品を味わう。	
		4週	「檸檬」②		凝縮された密度の濃い文学作品を味わう。	
		5週	「檸檬」③		凝縮された密度の濃い文学作品を味わう。	
		6週	「檸檬」④		凝縮された密度の濃い文学作品を味わう。	

		7週	前期中間試験	今までの授業内容をふまえて、設問に対して正しく解答する。
		8週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。
	4thQ	9週	「猫のしあわせ」①	筆者の考える、「遊び」と「しあわせ」の関係について、的確に読み取る。
		10週	「猫のしあわせ」②	筆者の考える、「遊び」と「しあわせ」の関係について、的確に読み取る。
		11週	「沈黙」①	本当の意味で怖いこととは何かを考える。
		12週	「沈黙」②	本当の意味で怖いこととは何かを考える。
		13週	「日本文化の雑種性」①	日本文化の本質を雑種性とする論説文を読み解く。
		14週	「日本文化の雑種性」②	日本文化の本質を雑種性とする論説文を読み解く。
		15週	後期期末試験	今までの授業内容をふまえて、設問に対して正しく解答する。
		16週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	8 0	0	0	0	0	2 0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0